

火事になったらどうする？

～ 女性消防団員による幼児防火教室 ～



とまって！たおれて！ころがって！

女性消防団員の活動の一環として、11月26日、市内初の幼児防火教室が星城保育園で行われました。

園児たちは「どんな時に火事になりやすいか」「自分の洋服に火がついた時の消し方」など、紙芝居を交えながら、見て、聞いて、体験。笑顔と大きな声で、手本どおりに「とまって！たおれて！ころがって！」と楽しそうに学びました。今後も、市内の保育園・幼稚園を対象に実施する予定です。

※同教室で使用している紙芝居は、仁賀保高校の生徒が作成したものです。

市内の青年グループが活躍中

～ めぐりあいツアー in 東京浅草 ～

独身男女を対象とし、11月27日から1泊2日の日程で、姉妹地の東京都浅草馬道地区へのツアーが行われました。17名の参加者は、姉妹地交流30周年記念の芭蕉の句碑や「にかほ市大物産展」（右ページを参照）を見学したほか、雷おこし作りなどを体験。にかほ市の地域間交流事業を学びながら、新たな体験と出会いを楽しみました。

このツアーは、市が今年度から始めた少子化対策事業の一環で、市内の青年グループ・アムニティ倶楽部に委託して実施したものです。

▼ツアー参加者で浅草名物・雷おこし作り



▲「星光の樹」イルミネーション（緑中央公園）も、主に同倶楽部のメンバーによる活動。
(写真は12月4日点灯の様子。1月上旬まで点灯)

- ◆秋田県納税貯蓄組合連合会長賞
「税の大切さ」
仁賀保中3年 斎藤美唯さん
- ◆本荘税務署長賞
「税が救えるもの」
象潟中3年 樽川彩光さん
- ◆本荘由利税務関係団体協議会長賞
「税金について」
象潟中3年 竹内真亜子さん
- ◆「選挙から考える消費税」
象潟中3年 竹内麻維さん
- ◆「暮らしと税金」
仁賀保中3年 齋藤さくらさん
- ◆「環境税とは」
仁賀保中3年 佐々木達人さん



「税について」
象潟中3年
佐藤朱莉さん



「私たちの大切な税金」
仁賀保中3年
後藤彩夏さん

◆平成22年度第44回
中学生の「税についての作文」
市内から228の応募があり、次の8名が入選しました。
にかほ市長賞

もっと、にかほを知って！

～ 秋田「にかほ市」大物産展 ～



浅草神社境内での大物産展

11月27日、東京都台東区の浅草神社境内で、にかほ市交流協議会が物産展を開催しました。同区内の馬道地区町会連合会との姉妹地交流で行われてきたもので、市内から11業者が出店し、日本酒や漬け物などにかほ産の商品を販売しました。

天候にも恵まれ、たくさんの観光客でにぎわいう境内では、販売も好調で、多くの人ににかほの味を知ってもらえたようでした。入口で出迎えた、ナマハゲ2体が大人気で、終日、記念撮影に追われるなど集客に一役かっ

ふるさとを思い親睦を深める

～ 第3回にかほ市ふるさと会 ～

11月28日、東京プリンスホテルを会場に、にかほ市ふるさと会が盛大に開催されました。首都圏等に在住する市出身者など281名が参加しました。

にかほの特産品が当たる抽選会では、進行役の佐藤英治さんがなぞかけを披露。「ふるさと会とかけて、神々しい神社の境内と、とぎます。大きな“シンボク”があるでしょう」と会場を沸かせました。

ふるさとの知人、友人と久しぶりの再会に会話がはずみ、笑い声が絶えませんでした。物産販売では懐かしい味を求め、多くの品物を買収む姿がみられました。



あいさつをするふるさと会新会長・大平温さん

出航 100 年目の式典

～ 開南丸出航の地で 100 周年記念式典 ～

明治43年、白瀬轟を隊長とする白瀬日本南極探検隊27名が、南極へ向け東京芝浦を出航しました。

それからちょうど100年後の11月28日「開南丸芝浦出航100周年記念式典」が出航の地、東京都港区埠頭公園で開かれました。

探検隊員の子孫や関係者、文科省、秋田県知事など約200名が参列。式典では記念に鳥海山のブナの苗木を植樹しました。

式典後のレセプションでは、全国から集まった探検隊員の子孫たちが親交を深めました。



開南丸芝浦出航 100 周年記念式典